



和歌山市が絶滅危惧生物のメダカなどの淡水生物を保全するために、約300mほどのコの字型の水路を指定して管理、保全しています。稲刈りが終わる田には水がありません。夏のあいだに繁殖したメダカやドジョウなどの水生生物はどこにいるのでしょうか？



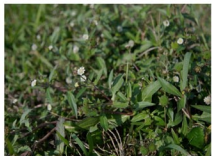
流れのゆるいところにメダカがたくさんいます。保全水域では、護岸をコンクリートにしていないので、砂害になっていて、深いところや、水草が茂っているところなど変化に富んでいます。深いところがあったり、水草などの障害物があったりすると、そこは流れがゆるくなったり、水が溜まったりしてメダカの良いすみ場所となります。コンクリート底であれば、水が干上がったり、大雨が降ると流れが速くなり、メダカが流されたりします。水路に茂っている水草は、オオカナダモです。日本在来のクロモは和歌山市では絶滅しています。



水路の水ぎわ付近に生育しているミソソバです。秋に白やピンクの花が咲きみずぎわをいろどり、大変美しいです。水路の周りも土のままのところが多いので、自然に生育しています。

水ぎわによく生育するジュズダマです。文字通りじゅうずとして使われたこともあります。最近は、水際がコンクリートになっていることが多くて、生育しているところが少なくなりました。

## 10月 安原、薬勝寺保全水路付近の植物



アメリカカタサブロウ（さく科）



オオジシバリ（さく科）



トキワハゼ（ごまのはぐさ科）



イヌガラシ（あぶらな科）



キツネノマゴ（きつねのはぐさ科）



イヌタテ（たで科）